



Association of Mukojima Studies

『向島学会』の新ロゴ
design by Watanabe Shinji2006年
5月13日号

ニュースレター

目次

『平成17年度第6回交流のサロン』

報告

今回の交流のサロンは、「サロンの原点に帰って、今年も向島をフィールドにしたアートプロジェクトを計画しているアーティストたちによるこれまでのプロジェクト、とくに向島との地域コラボレーションに関連の深いプロジェクトについて、じっくり映像で見えていきました。そこにいる人々」との交わりを原点にしたアートは、ゆったりとした動きではあっても、まちをつなぎ地域をつないで、何かしらの場を共有させてくれます。アーティストたちの継続する力こそ学ぶべきところなのでしょう。

平成17年度 第6回交流のサロン

向島学会のNPO法人化申請は5月末現在、細かな字句の修正などがほぼ終わり、東京都での審査の最終段階に入っています。NPO法人化の申請が通過すれば、設立総会を開くこととなります。その詳しい日程等は後ほど連絡します。設立総会は向島学会の新たなステップにとって、とても重要な画期です。是非ご参加ください。

向島学会第6回交流のサロン

日時：平成18年5月13日(土)午後2時～5時
会場：すみだNPOテンプルラリーオフィス 交流サロン(定員30名)
(旧文花小学校 墨田区文花1丁目32-9)

1)「<向島のはじまり>のはじまり会」
山中正哉 柳澤明子(劇団「トリのマーク(通称)」)

2)越後妻有vs向島 交流会
尾身浩 尾身浩和 尾身寿幸(新潟県十日町)
水内貴英 住中浩史(「向島アート・まち大学」講師)

3)諸報告
*向島学会NPO化 その後の経過と今後の予定について
*「向島アート・まち大学」今後のスケジュールについて
*AAFなど、その他の向島企画について
*交流サロンの活用法と、NPOフェスティバルの開催について

4)その他
*告知など



平成17年度 第6回交流の サロン



<http://www.mukojima.org/>

発行 向島学会
代表 高木新太郎

131-0032
東京都墨田区向島三丁目4番2号
03-3610-1378 (TEL・FAX)

フルハウス=古橋邸です。

入会金 3,000円
(学生会員 1,000円)
月会費 500円
(学生会員 100円)

郵便振り込み
00130-7-723191 向島学会

申し込みば「交流サロン」
やHP等でも受け付けます。

仲間になりませんか!

向島学会では、会の目的に賛同し、活動に主体的に参加するとともに、活動の成果を会に提供する個人を対象に会員を募っています。会員2名の推薦が必要ですが、交流サロンなどに参加していただき、その後、会員に申し込まれることをお勧めします。

2) 越後妻有vs向島 交流会

尾身浩 尾身浩和 尾身寿幸(新潟県十日町)
水内貴英 住中浩史(「向島アート・まち大学」講師)

5月14日に開催される「向島アート・まち大学」講座「音とまちの景色 路地琴プロジェクトを追って」のゲストとして、新潟県の十日町の集落から3名の住民代表の方をお招きするのに合わせて、交流のサロンにもご参加いただけます。
この地域では3年に一度、日本最大の地域アートプロジェクト「大地の芸術祭・越後妻有トリエンナーレ」が行われ、今年の夏には第3回が開催されます。昨年の尾道に続き、地域とアートの関わりをめぐり、ふたつのまちの交流会を行います。

1) 「向島のはじまり」のはじまり会

山中正哉 柳澤明子(劇団「トリのマーク(通称)」)

2004年より、向島を舞台に演劇プロジェクトを続けている劇団トリのマーク。向島学会主催の「向島アート・まち大学」では、講師としてもご活躍いただきました。
そんな彼らが、今年のアサヒ・アート・フェスティバルでも、向島をテーマに新しいプロジェクトに挑みます。題して「向島のはじまりー森の記憶 町の記憶」。
このたびの交流のサロンでは、今年に予定する活動のプレゼンテーションとともに、昨年日本中を車で移動しながら行った記憶リーディングツアーや、古い民家でのリーディング公演の模様などを、映像を交えて紹介していただきます。



路地琴プロジェクトについて語る「向島アート・まち大学」講師の水内さんと住中さん



劇団「トリのマーク(通称)」の山中さんと柳澤さん

新潟県十日町からのお客様



「ふたつの向島」プロジェクト 墨田区向島地域・鳩のまちでのオリエンテーリング

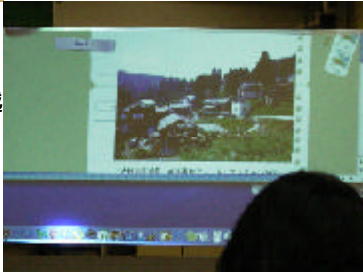


アーティストとの出会いと交流を語る十日町の尾身氏



ゆったり、ゆるゆるとした時間の流れる古民家でのリーディング公演

3年前の「大地の芸術祭・越後妻有トリエンナーレ」で十日町を舞台に実施されたアートプロジェクトの報告



リーディング中の劇団「トリのマーク(通称)」他にも「さかなおとこ」が随所に活躍



久しぶりの参加者も

インタビューに答える阿部氏

